

被災市町村情報

福島県檜葉町

1 市町村の状況等

項目	内容
概要	福島県浜通り地方の中程に位置する檜葉町は、103.45平方キロの面積を持ち、人口は約7,000人の町です。 西は緑豊かな阿武隈山地、東には太平洋の大海原が広がり、町を木戸川と井出川が流れサケの溯上や鮎などが生息する恵まれた自然を有しています。 東日本型海洋性の太平洋岸式気候で比較的寒暖の差も少なく、積雪も年に1~3回程度と一年を通して過ごしやすい環境です。
復興状況	檜葉町のほぼ全域が福島第一原発より20km圏内にあり、全町避難指示が出されておりましたが、平成27年9月に解除され、現在では町民の約6割が町に戻って生活を再開するなど、町内には新たな活気や賑わいが生まれつつあります。また、令和3年3月に「第六次 檜葉町勢振興計画」を策定し、「笑顔とチャレンジがあふれるまち ならは」をまちの将来像に掲げ、同計画に基づき今後10年間のまちづくりを推進しています。
ホームページアドレス	https://www.town.naraha.lg.jp
交通	JR 竜田駅より檜葉町役場まで徒歩15分 常磐自動車道ならばスマートICより檜葉町役場まで車で4分 広野ICより車で15分
放射線情報	檜葉町役場：0.08 μ Sv/h（2021年6月現在） 檜葉町内については除染が完了しており、町内全域で空間線量は落ち着いております。

2 勤務条件等

項目	内容
勤務時間	8時30分～17時15分（休憩時間：12時00分～13時00分）
休日	土曜日、日曜日、国民の祝日、12月29日～1月3日
時間外勤務	業務の進捗状況により、無理のない範囲でお願いする場合があります。
年次有給休暇	暦年に20日付与、繰越20日限度。 年の途中で派遣された場合は、20日に前年からの繰越日数を加えて得た日数から、檜葉町職員に併任された日の前日までに使用した年次休暇の日数を減じた日数となります。
その他の休暇	特別休暇等のその他の休暇については、檜葉町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び規則に定めるものとします。

宿 舎	町営住宅や町が借上げた民間住宅等をご利用いただきます。 入居料、光熱水費は檜葉町が負担いたします。
備 品	家具付賃貸住宅の場合は、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、エアコンは備え付けられている見込みです。ただし、備え付でない民間賃貸住宅や町営住宅の場合は、自己負担にて準備願います。
駐 車 場	駐車場の物件を予定しておりますので、自家用車を所有されている場合は、お持ちいただいた方が便利です。
通 勤 手 段	自家用車での通勤も可です。
通 勤 時 間	車で 10 分程度の範囲で住居を確保予定。
立 地 条 件	町営住宅の空室状況、借上げる民間住宅等が未定のため、条件は不明です。

3 インフラ等

項 目	内 容
商 業 施 設	平成 30 年に「笑ふるタウンならは」がオープンしました。 【出店店舗】 スーパー、ホームセンター、理容店、クリーニング店、コインランドリー 飲食店、パン屋等
医 療 機 関	県立ふたば復興診療所（愛称：ふたばリカーレ） 歯科医院
子 育 て に 係 る 施 設	檜葉町立あおぞらこども園 檜葉町立檜葉小学校（令和 4 年度より南小学校、北小学校が統合） 檜葉町立檜葉中学校
水・電 気・ガ ス	水道：双葉地方水道企業団 電気：賃貸物件等により異なります。 ガス：賃貸物件等により異なります。

4 その他（コメント等）

震災から 10 年目を迎え、第六次 檜葉町勢振興計画を令和 3 年 3 月に策定し、「笑顔とチャレンジがあふれるまち ならは」をまちの将来像に掲げ、今後 10 年間のまちづくりを推進しています。

ふるさと檜葉町を取り戻し、後世に引継ぐことができるように、より一層のご支援をお願いいたします。

5 担当者連絡先

所 属 部 課 名	総務課
電 話 番 号	0 2 4 0 - 2 3 - 6 1 0 0
F A X 番 号	0 2 4 0 - 2 5 - 5 5 6 4
メ ー ル ア ド レ ス	soumu-n@town.naraha.lg.jp